謹んで新年のご挨拶を申し上げます

2011年は、東日本大震災という未曾有の出来事に日本自体が大きな転換期を迎えた年だったといえますが、CESにとっても、大きな転換期を迎えていると感じる1年でした。

というのは、今までは、親御さんの入院に対して、メンバーであるお子さんのケアをステップが中心になっておこなってきましたし、それは年 $1\sim2$ 回あるかないかのことでした。それが、昨年は、親御さんの入院もありましたが、それ以上にメンバーの入院が続きました。

それは必ずしも高齢化ということに直接原因があるわけではない場合もありましたが、いずれにしろ、そういった医療的なケアを受ける機会が多くなるということは明らかです。だからこそ、これからは、メンバーの健康維持・増進をあらゆる場面を通じて図るとともに、これまでのガイドヘルプ、体験宿泊・ショートステイ、グループホームといった生活支援をより充実させていく必要があると考えています。

また、日中活動についても、体力の低下にともない立ち仕事等が難しくなるという面もありますが、その一方で、仕事の充実が気力を養い体調にもよい影響を与えてくれるということも、日々の活動の中で実感しております。体力的な負荷があまりに高くなければ、カラダを動かし、自分の役割をもち、他人の役に立っていると実感できることが、健康の秘訣であると言われます。

今年は、ゆいまーるの改修工事が新年早々はじまりますが、リニューアルされたお店で、メンバーが自分の持ち味をより一層発揮して、活き活きと働き、地域のみなさんと楽しく交流できることを目指していきたいと思います。

どうぞ CES のこの 1年の活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

もちつき&新年会は延期いたします

例年この新年号でご案内しておりました「もちつき&新年会」ですが、今年は改装工事のため、ゆいまーるの厨房が使えませんので、ゆいまーるの改修工事が終わるまで 延期することにいたしました。

いつもおいでいただいているみなさまには申し訳ありませんが、どうぞご了承ください。詳しいことが決まり次第、あらためてご案内いたします。



八王子生活館 ゆいまーる生活館 自立生活体験室ステップ グループホームきりん館 グループホームきらり館

アート&クラフト フーズ&エコロジー チャレンジ&エンジョイ スロー&エンジョイ スロー&エンジョイ

〒192-0072 東京都八王子南町 5-13

TEL&FAX 042-624-8417

E-mail info@npoces.net

ボランティアさんを募集しています!

CESでは、メンバーに対してよりきめの細かな対応をするために、また、閉鎖的な場にならないよう、 地域に開かれた風通しのよい場にしていくために、ボランティアさんを募集しています。

- * 下記いずれの場合も、交通費・入場料等の実費はこちらで負担いたします。
- *詳しくは、電話 042-627-0665 か info@npoces.net へお問い合わせください。

1/20・2/10(金) 選択カルチャー 13:00 生活館集合・16:00 生活館解散

美術、ダンス、タイコ、たいそうに分かれて 活動しています。いっしょに楽しんでくださ る方を募集しています。

1/27・2/17(金) 自由レク

12:00 生活館集合・16:00 生活館解散

カラオケ、ボウリング、プールに分かれて活動しています。とくに、ボウリングにいっしょに参加してくださる方を募集しています。

2/24(金)25(土)26(日) 手作り作品展のお店番 in イトーヨーカドー八王子店

現地集合・現地解散で10:00~20:00

10 時~20 時の間で、ご都合のよい時間帯(2 時間ほど)で結構ですので、お手伝いをお願いします。

品物の紛失防止・補充そして商品説明が主な仕事です(レジはありません)。 お店番が難しい場合は、ゆいまーるでパンやクッキーの袋詰めなどの仕事もあり ますので、ぜひお問い合わせください。

お詫びして訂正いたします

2011年11月発行(No.127)の表紙においてゆいまーるの仮店舗の住所と電話番号に誤りございましたので、お詫びして下記の通り訂正させていただきます。

- (誤) 東京都八王子市南新町<u>5-13</u> 小川<u>ビル</u>1階⇒ (正) 東京都八王子市南新町<u>14-3</u> 小川<u>ハイツ</u>1階
- (誤) Tel 042-626-2293 \Rightarrow (正) Tel 042-626-2296

* 寄付・寄贈 * どうもありがとうございました (敬称略・順不同) _

三宅恒子 甲斐和子 佐々木さきこ 小林秀雄 蛯名吉男 八王子社会福祉協議会 (歳末助け合い募金) 八王子市老人クラブ連合会 清水建設(株)八王子営業所 所長 高瀬谷尚也 自立生活体験室ステップ・活動報告

ステップ"宿泊体験"のこと

通信ではあまり紹介することがなかった宿泊体験のあれやこれや。

宿泊体験は主に平日の月~木に行っています。ケアを合わせて5~6名で"わいわい"という日もあれば、ケアと2人だけで過ごす日もあります。みなさん宿泊体験室での過ごし方になれていてマイペースです。ここでの体験がそれぞれの希望する暮らし方(ケアホーム?一人暮らし?それとも今までみんなが思いつかなかった新たなスタイル?)を実現するステップになるとよいと思います。

16:30 集合*夕食メニュー決め 17:00 買い物へ出発 17:30 宿泊体験室到着。休憩。夕食 準備*調理はみんなも手伝います。 19:00 夕食。入浴など。 それぞれのくつろぎタイム 23:00 消灯



いってきま~す

便利グッズのご紹介

生活館が引っ越しをし、宿泊体験室が少し遠くなりました。このことを「よい運動になるね」と前向きにとらえています。ただ、泊まりの準備(大きなかばん)を持っての移動は大変そうにみえました。あるメンバーの方がキャリーバッグを利用し始めました。最初はかばんがひっくり返ったりしましたが、今はひき方も上手になりました。「海外旅行にでかけるみたい」でちょっとかっこいい。おすすめです。

「みんなのおなか周りが気になり ますね」。入浴後かかさず体重計でのあるメンバーもいますくれているメンバーもなるべく野菜ではないであるべく野菜でであれたメニューを考えにはできまれている。ものでは、ままでは、ままででは、ままででは、実際になったものででは、実際になったものででできます。とみんないでであるといいな。

7:00 起床。朝食準備 7:30 朝食。 片付け。洗濯。掃除。 9:10 宿泊体験室出発。 遅刻をしないように 気を付けましょう。



くつろぎタイムは

ケアの方とおしゃべり、トランプや UNOをしながら過ごしています。"黒 ひげ危機一髪"が登場したこともあり ました。編み物をする方もいます。も ちろんゴロンとよこになってもいいで す。でもやっぱりみんなテレビが好き です。

2012 年もよろしくおねがいします

"次回通信"は・・・ステップの活動を支えてくれているケアの方のご紹介をします

理事リレーエッセイ ⑨

東日本大震災を考える。

監事 加瀬明彦

ゆいまーる生活館の前で、毎日、バタバタと慌ただしく、ゆいまーるにパンを買い に行くゆとりもなく、コーヒーを飲みに行く余裕もなく、ひたすら会計事務所の仕事 をしている。趣味は?と聞かれ、仕事と答える。そんな税理士の「加瀬」と申します。

NPO 法人 CES では、いつも土居さんに追い立てられながら、監事の役を務めさせて頂いております。

東日本大震災については、皆さま、いろいろなことを感じ、考えていることと存じます。この度、理事エッセーの当番が回って来たのを機に、私もこの大震災を考えてみたいと思い、とりとめのないお話し、二つほど、筆を執らせて頂きます。

10月の初めに、宮城県の気仙沼を訪問する機会がありました。まずはそのときのことからお話しをさせて頂きます。

気仙沼港でバスから降り立った時、一緒に行った仲間一同、呆然とただ立ちすくむ ばかりでした。なんにも無い。本当にみんな流されて、なんにも有りませんでした。 そして、海からはるかに離れた、なんでこんなところにという場所に、大きな船が ある。信じられない光景でした。

衝撃的なことばかりでしたが、いちばん印象深く残っていることは、案内をして頂いた地元の方々の言葉です。「甘く見ていた」「たいしたことはないと思っていた」「油断していた」「こうなることが解っていたら・・・」まさに後悔の言葉の連続でした。

自然を克服しているなんて大まちがい。人の傲慢さが作り出した人災か。いつの頃からか、私たちは、自然とうまく付き合う術を忘れてしまっているのではないでしょうか。日本列島がたいへん厳しい自然環境にあることを、あらためて納得させられ、自然の中における人のあり方について、つくづく考えさせられた気仙沼の一日でした。

ところで、私は、最近まで、資本主義と自由主義が、そろそろ賞味期限が来ている のかなと思っていました。突然の話しの展開、申し訳ありません。実は、東日本大震 災がこの賞味期限を伸ばしてくれるのではないかと密かな期待を抱いております。

競争の名のもと、自分の利益になることばかり追求し、思想・言論の自由の名のも と、自分の権利ばかり主張する人の多い社会は、いずれ崩壊する。

今の日本は、ほとんど、この状況にあるのではないでしょうか。自分のことしか考えていない人が多すぎます。「もうだめかな」と思っていました。しかし、大震災をきっかけに、誰もが「助け合い」や「思いやり」を意識するようになったような気がしています。震災前とは比べものにならない数多くの人が、この意識に気付き、活動を始めています。

人は、「競争」だけでなく、「助け合い」や「思いやり」を手に入れたからこそ、今があるのではないでしょうか。「支え合う」ことこそが、人の人たる所以である。この大震災は、本当に大切なことは何かを、私たちに知らせてくれたと思っています。

話しがクドクドと長くなって申し訳ありません。年を重ねると、しつこさが増します。お許しください。もし最後までお読み頂ければ、幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。













































あいがとう ございました!

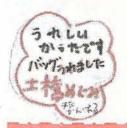
生活館アトリエ展=ぬくぬく展は、移転した新しい生活館の場所を、いろいろな方々に認知していただきたい!メンバーのみなさんの仕事ぶりをまるごと見ていただきたい!という思いで開催を計画しました。

でも、いざ開催目前になると、私たちスタッフの中でいろいろな不安がふくらんできました。・・大勢のお客様がいらっしゃる中で、果たしていつも通り落ち着いて仕事ができるかしら?・・ふだんと違う雰囲気に、興奮したり、調子をくずしてしまったりしないかしら?・・・



工房が通りに面してガラス張りであることで、通りがかりの方にもたくさんおいでいただけました。この立地のよさを生かして、今後は常設で展示スペースを残し、いつでも気軽に立ち寄っていただけるアトリエ&ミニギャラリー・ショップとして、この街で定着していけたら、と思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。







そして OPEN!

メンバーのみなさんは、少し緊張ぎみながら、次々に 見えるお客様の質問に快く答えてくれたり、自分の作 品をアピールしたり、とても落ち着いていました。

そのときの表情は、自信に満ちて、うれしそうでした。 お客様の方は、「こんなに織機があるのを初めて見ま した」と感激されたり、「織物ってこんなに細かい仕事 なの?」「みなさん、とても集中してやってらっしゃい ますねえ」と感心されたり、楽しそうにゆっくりくつ ろいでいかれる方が多かったです。そして、展示され ている作品もじっくり見てくださっていました。

会場内には、まさに「ぬくぬく」な時間が流れていた 気がします。

おいでくださった皆様、ほんとうにありがとうございました。



来年3月1日(木)~6日(火)八王子のギャラリーYASUTAKE さんで作品展を行います。

YASUTAKE さんでは、昨年の同じ時期に予定していたのですが、あの3.11で残念ながら中止となってしまいました。 今度こそリベンジ! どうぞ楽しみに!

今回は、はじめてのオリンパスホールです。生活館は、出店もしますのでぜひおいでください。



<今後の予定>

*1/21に予定していた「もちつき&新年会」は、3月(ゆいまーるの改修完成時)に延期します。

1月の予定					2月の予定		
1	日		1、福州人民总统	1	水	じゆう自由	ここ かぜひめ てんじんかいかん 午後 風姫(天神会館)
2	月	凝。	ねんまつね ん しきゅうぎょう 年末年始休業	2	木	じゅう自由	
3	火			3	金	じゆう	
4	水			4	土		
5	木	じゅう自由	ALL THE SEA STATE OF SHEET AND A SECOND STATE OF SHEET AS A SECOND STATE OF	5	日		
6	金	じゆう自由	きゅうりょうび *給料日 午後 全体ミーティング	6	月	じゆう自由	Williams Andrews
7	土		ゆいまーる休業	7	火	じゅう自由	A STATE OF THE PARTY OF THE PAR
8	日			8	水	じゅう自由	
9	月		#LUCA ひ 成人の日	9	木	じゅう自由	
10	火	じゅう自由		10	金	じゅう自由	*給料日 午後 選択カルチャー
11	水	じゅう自由	デージ かぜひめ てんじんかいかん 午後 風姫(天神会館)	11	土		けんこくきねんび 建国記念日
12	木	じゅう自由	THE ALCOHOLS	12	日		
13	金	じゅう自由		13	月	じゅう自由	Act Control
14	±		ふれ愛コンサート	14	火	じゆう自由	
15	日			15	水	じゅう自由	
16	月	じゅう自由		16	木	じゅう自由	The state of the s
17	火	じゅう自由		17	金	がいは、外食	こと じゅう 午後 自由レク
18	水	じゆう自由		18	土		
19	木	じゅう自由		19	日		
20	金	じゅう自由	午後 選択カルチャー	20	月	じゅう自由	
21	土			21	火	じゅう自由	
22	日			22	水	じゆう自由	
23	月	じゅう自由		23	木	じゆう自由	THE RESERVE TO STATE OF THE PARTY OF THE PAR
24	火	じゅう自由		24	金	じゅう自由	てづく さくひんてん 手作り作品展(イトーヨーカドー八王子の
25	水	じゅう自由		25	土		A
26	木	じゅう自由		26	日		
27	金	がいは、外食	エージ じゅう	27	月	じゆう自由	
28	±			28	火	じゅう自由	
29	日			29	水	じゅう自由	and the second second
30	月	じゅう自由					
31	水	じゅう自由					

ゆいき一るパン工房からこんにちは

ゆいまーるは 12 月 13 日をもちまして一時閉店となり、4 月までの仮営業のため、ご近所の 小川ハイツに引越しをすることになりました。

パン屋さんの引越しは大変です。パン屋で使っている厨房設備はどれも 非常に重く素人ではとても運ぶことはできません。

パンを焼く釜 (なんと重さは一トン近くあるそうです!) が運ばれるとき の様子は圧巻でまさにプロの仕事という感じでした。

ゆいまーるができたときの八幡町から南新町への引越しもそうだったそうですが、今回の引越しも厨房設備は、横浜の櫛澤電機さんにお願いいたしました。その他の荷物については、大きいものは結の会にトラックをお借りして、小さなものは、メンバーやスタッフが歩いて運びました。小川ハイツへの引越しはみんなの協力もあり、とても順調に進みました。

だんだん空っぽになっていくゆいまーるをみているとなんだか寂しい気持ちにもなりました。 パンを作っているときは忙しくてメンバーと一緒にゆっくりご飯を食べることもなかなかで きませんでしたが、引越し中の今は、大きなテーブルをみんなで囲み、食事はもちろんとてもリ ラックスした楽しい時間を過ごしています。



引越し先の小川ハイツですが、工房は今までよりも広くなり、作業 はしやすくなりそうです。惜しむらくは、改装中レンタルしたパンの 釜は今よりも小型で蒸気が出ませんので、今までどおりのパンの種類 と量を焼くのは難しくなります。

ただ、パンを作ることも大切ですが、4月の新装開店にむけてこの3 ヶ月はいろいろなことを見つめなおすいい時期だと思います。

仕事のこと、新しくなるお店のこと、今まで忙しさにかまけてそのままにしていたこと (パソコンの勉強とか(笑))。4月までの3ヶ月間はきっとあっという間に経ってしまうと思いますが、みんなで話し合

ってメンバーもスタッフも心機一転頑張っていければいいなと思います。 (工房:光永幹雄)



あれもこれも 11月1日~12月31日

振り返ると 2011 年も「あれもこれも」と色々なことがありました。

3 月の東日本大震災によるさまざまな影響は、メンバーに動揺や混乱を来たし、スタッフも防災への対策や環境作りについてあらためて考えさせられました。また、生活館では企画していたギャラリー展「さいた・さいた展」を延期することになり「仕方がない・・」と思いながらも、メンバー・スタッフ共に力を入れていた分残念でしたが、秋の工房展「ぬくぬく展」は、それをバネにして、みんなが一丸となり沢山の方々にご来場いただき大成功を収めることができました。また、ゆいまーるは、今年12 周年を迎えました。ちょうど干支を一回りした区切りのよい年月を最後に新年より改装を始め、新しく生まれ変わります

2011年は、毎日がただ緩やかに過ぎて行く一年ではありませんでしたが、メンバーの笑顔がここにあることは、毎日の励みとなっていました。

地域の方々、ボランティアの方々、いつもお力添えを下さる全ての皆さん。2011 年は大変お世話になりました。

新しい一年が始まります。良い年でありますように・・2012年もよろしくお願い致します。

出ました!ボーナス!

12月の最初の金曜日に冬季の賞与が支給されました。帰りのミーティングで一人ひとりに「賞与」と書かれた白い封筒が手渡され、受け取るメンバーさん達は、ほんわか・・うふふ・・と、笑顔に変わってゆきました。ボーナスは、メンバーの毎日の仕事の成果ですが、支給をすることが出来たスタッフ側にとっても、とても嬉しい成果です。

ボーナスで「好きな〇〇を買ったんだよ」「家族にプレゼントをしたの」といったメンバーの嬉しそうな報告を受けるスタッフは、ほんわか・・うふふ・・と、笑顔に変わります。

皆さん、毎日お仕事お疲れ様です。これからも、よろしくお願いしますね!

メリー・クリスマス!

毎年恒例のクリスマス会は、はじめて生活館のお向かいにあるライブハウス・レストラン「シネマ・クラブ」の 2 階「鹿鳴館」で行われました。広いお座敷に、二列に長~く並んだ座卓を、メンバー・ボランティアさん・スタッフ総勢 47 人が囲んで座り、ランチとカラオケを楽しみながら、歌え、踊れの大宴会となりました。

とくに、ゆいま一るのスタッフ3人で組むフラダンス・ユニット「しじみ一ズ」の出し物やボランティアさん達が壇上に集まって歌いはじめた「きよしこの夜」が、いつの間にか会場全員での大合唱になっていく様子はとても素敵でした。プレゼント交換も、300円程のお菓子というルールはありましたが、どんなお菓子が当るのかちょっとワクワク? そして、スタッフが扮するサンタクロースには、みんなが「わっ!」と大喜びでした。今年は、仕事納めの日ではありませんでしたが、気持ちの上では1年を締めくくるにふさわしい会となりました。

八王子生活館スタッフ 川中道子

八才作品展 2012



-3億年たったち

2012年 バオ作品展 ばばばばばお

1 = 26 B ~ 29 B B

午後1時から7時まで いちょうホール第2展示室 入場無料

平面 立体 詩 写真 語らいなど

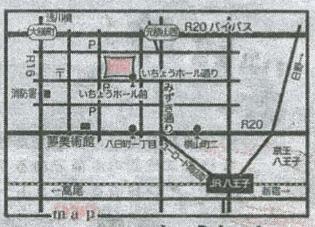
パおパポパーティー

1 = 29 B B

午後2時から4時まで 八王子在住のアーティスト 土方朋子さんのアーティストトーク 弾き語り 詩の朗読 ダンスなど 数年前から野外での現場制作をしています。 野外での制作は目の前に広がる すべてのものたちと一つになれる瞬間で 彼らを受け入れてこの瞬间を記憶して記録し て描き留めています。

日々の感謝をこめてこれからも彼らの言葉を みなさんに届ける役割を続けてゆきたいと思 います。

招待作品:土方 朋子さんの絵



八王子市芸術文化会館いちょうホール TEL042-621-3001 八王子市本町 24-1 徒歩 /R 八王子駅北口より 13 分 バス /R 八王子駅北口900番, 京王八王子駅 2番乗り場 「横山町 3 丁目」または「八日町 1 丁目」下車徒歩 3 分

機応大学教授 《野史郎

http://www.motherbird.net/~ikiru 自立をめざ



介護を受けられるように成め性を身につけ、誰からも会性を身につけ、誰からもの関わりの中で、社 社会づくりを目指して『權祉れの人生を明るく送れる地域 ラムで日中活動を支援して 害や個性に合わせたプログ 動し、毎日、それぞれの降 五年間を追う。 計画が持ち上がった頃からの映画は、二つ目の施設建設 けてきた。 制度や施設づくりを行い統 自分たちのニーズにあった まれつつも行政に働きかけ、 ち、法制度の改革の波に揉長してゆく。そして親たち を切り拓いてきた。 発想が、親たちの新しい未来 の受け手から担い手となる。 いずれは、親も子もそれぞ

今では、どうない。 かなに難い障がいがあって も、本人もその家族も、地 も、本人もその家族も、地 をのむとに親たちの努力で、 でのむとに親たちの努力で、 でのむとに親たちの努力で、 でのむとに親たちの努力で、 でのから立ち上げた進症心 活支援員の他に看護師も常要とする利用者も多く、生ここには医療的ケアを必 設である。 ・養養業所でら~とは、ごと静岡県富士市にある生活

の施設が欲しいと思いながらも、実現の困難さから、あきらがいっぺんに変わってしまうだろう。また、地域の中で支援

「重度の障害者に自立なんてありえない」といった思い込 たちに、この映画を見ていただきたい。「障害者はかわいそ

う」、「障害者は家族を不幸にする」、「障害者は何もできない」

障害者のこと、特に、重症心身障害者のことを知らない

めていた障害者の家族にも観てもらいたい。「やればできる」

大きな勇気をもらうはずである。

日常生活のあらゆる前で介助を必要とし、

言葉もなく意思



たちは制度の壁を乗り線

ビスを生み出し



思ってるんじゃないの? 市役所がやってくれると



たちが、複社の受け手から



も言えな





存を保障する」ものであって、「生き方を管理する」もの、国家が「自立支援」を促すものではないと思う。 制度は「 0 すごいことは、こうしたメッセージを自然に優しく描いて はない。こう書くと難しい理屈のように受け止められるかも のことを物語ってくれている。そして、この映画が本当に 「涙」、そして普通に生きようとするそれぞれの「希望」 れないが、映画に登場するこどもたちの「笑顔」、 「自立」とは本人の内発的な生きたいという叫びであって、

親と子は一心同体ではなく二人の別々の人間であることが たでらうとのみなさんに、心からの敬意と拍手を送ります。 子どもの幸せです。そこにどんな条件が加わろうとそれが れの自立です。 身の自己実現があるのが「普通」なのです。親と子、それぞ 「普通」なのです。例え我が子に難い障害があっても、親自 実現と自分自身の自己実現に胸を張って取り組んでいます。 「普通に生きる」ことなのだと、それを、見事に見せてくれ ます。当時の母親たちは七十代になりました。 でら~との母親たちは四十代、五十代です。子どもの自己 子どもの幸せは親の幸せであり、親の幸せは

社会福祉法人 十穀源育会理事長 日浦美智江 地域で生きる姿である。そこまで我々を導いてくれる、この

自分では動けない身体の彼ら重症心身障害者が

もつと大事なことを教えてくれる。教えてくれるのは、ものの力とは何か、家族とは何か、障害者問題を超えて、もっと

と子は一心同体というのが一般的には「普通」だったと思い 生まれ、重い障害のある人たちの自己実現の舞台ができた当 れる部屋に閉じ込められているのが「普通」でした。一九八 は、親はわが子の自己実現に自分の自己実現を重ね、 かって障害のある人たちは世間から隠され、 日本で初めての量症心身障害児者の通所施設 座敷牢と呼ば 朋 親

■生活介護事業所でら~と・らぼ~と社会福祉法人インクルふじとは?

富士市のでら〜と(2004年開新)と、富士宮市のらぼ〜と(2009年開新)は 富士市・富士宮市で暮らす重症心身障害児(者)の親たちで組織した 「はなみずき」が、様々な活動の末、地道な活動を続けながら設立した 社会福祉法人インクルふじが立ち上げた在宅サービスの拠点である。

> インクルふじのホームベージ http://incle.jp

■「普通に生きる~自立をめざして~」に描かれた力

油田正

生

日本社会福祉大学准教授

生活介護事業所でら~と・らば~と所長 小林不二也

足掛け5年にわたって当法人の取り組みを取材していただき 利用者とその家族の生の姿を丁寧に振っていただきました。 人は弱い存在です。しかし、最も聞いはずの重症心身障害児 (者)の彼らの笑顔から、実に多くの人々が力をもらっています。

(者)の彼らの笑顔から、実に多くの人々が力をもらっています。 映画は、障害・家族・運動・仲間・人生・夫婦・自立等々、さまざまなことを考 えさせてくれる素晴らしい作品に仕上がりました。 不況や災害など生き難い世の中であればこそ、彼らから多くのことを学び、歩ん

でいくことで社会が成熟していけると確信しています。 ぜひとも、お一人でも多くの人にこの映画を観ていただきたいと思います。明日 に向かって力強く生きていく勇気を、彼らからもらってください。そしてその力を あなたの周囲で悩んでいる友人に向けてあげてください。

この映画と、利用者の笑顔にはそんな力があると確信し

この作品の著作・配給、上映・ご購入に関するお飼合せは

TELEFAX: 03-6913-5591 e-mail: office@motherbird.net

では終わらない。この映画は、さらにその先の根源的問題、持った人たちが、幸せになってよかったね、ということだけ

見終わって、いろいろなことを感じる。こんな薫い障害を

人間とは何か、人生とは、生きるとは、幸せとは何か、地域

さない。これが普通の生活である。これが幸せの形である。密着する力メラは、楽しいことをやっている彼らの表情を逃

わりの中で示す表情豊かな反応を、この映画は克明に映し出す。

ってきて、活動の花を咲かせている。仲間や施設職員との関表示がむずかしい重症心身障害者が、毎日、「でら~と」に通

2020h-45-5 http://www.motherbird.net/~ikiru





親たち は











特別鑑賞券 1200円

当日:一般1500円/大寿1300円/ 二ア案中·學書者※ma---xxで1000円/ 小700円/未就学児無料/

発売中!

等詳細は各韻場 ドにお問合せ下さい 03-6913-5591

中野区東中野4-4-1-B1 : 03-3371-0088

日(土)より

横浜市中区伊勢佐木町2-8-1 TEL: 045-261-2995

2012年 4 (土)より : シネ・ヌーウ 大阪市西区九条1-20-24

TEL: 06-6582-1416

2012年 4 28日(土)より